

第2編

道路分科会

【要旨】

本編では、道路分科会の概要について述べる。道路分科会は、橋梁WG1（モニタリング）、橋梁WG2（補修・補強）、のり面WG、道路構造物・トンネルWGの4つのWGにて活動した。各WGとも、事前の設立準備委員会にて実施した各自治体に対する維持管理アンケートにおいてニーズの高かった項目、すなわち、点検・補修・補強の標準歩掛作成、設計標準マニュアル、工法選定支援資料作成などに焦点をあてた。これらの成果は実際の施設管理者である自治体に使ってもらえることが重要となるので、適宜管理者とヒアリングや打ち合わせ、確認を行うなど、ニーズとの乖離が少なくなるように配慮した。

各WGの概要は以下のとおりである。

橋梁WG1（モニタリング）では、点検の対象と流れ、点検の頻度と対象部材、定期点検の点検項目と定期点検の実施体制、橋梁の形式別点検のポイント、損傷の評価と診断、点検結果の記録、詳細調査および追跡調査について述べる。さらに、大阪府より実験フィールドの提供があった「(旧)鳥飼大橋」の調査に関しては、(1)応力発光体による計測、(2)腐食部の板厚計測による橋梁の板厚分布把握の2項目を実施した。

橋梁WG2（補修・補強）では、総則、事前調査、詳細調査、損傷原因及び健全度評価、補修設計、維持管理計画、補修事例および標準歩掛（案）について述べる。

のり面WGでは、斜面・のり面の適切な点検方法の手引きとして、斜面・のり面の維持管理の概要、のり面の不安定化要因、のり面工構造物の種類と特徴、点検のポイント、法面簡易点検の提案および自然斜面の維持管理について述べる。

道路構造物・トンネルWGでは、道路トンネル維持管理の方向性および開削トンネル（地下道、横断ボックス等）維持管理の方向性について述べる。